

# 書籍のご案内

## 超音波探傷入門（パソコンによる実技演習）

### 「デジタル超音波探傷器」編

**編集：**（一社）日本非破壊検査協会  
編集委員長 原田 浩之  
**体裁：**B5 版, 88 頁  
**定価：**本体 6,000 円＋税 （送料別）

本参考書は、2000 年に超音波探傷入門（パソコンによる実技演習）として発行され、当初は「アナログ超音波探傷器」のシミュレータを皆様に活用していただいていた。一般社団法人 日本非破壊検査協会（以下、JSNDI）では、2009 年に日本国内でも普及が進んできたデジタル超音波探傷器を試験や講習会に導入し、これに伴い本参考書も 2013 年に超音波探傷入門（パソコンによる実技演習）「デジタル超音波探傷器」編として改訂した。

その後、2020 年には JSNDI で使用しているデジタル超音波探傷器の一部改良を行ったことから本参考書も今回(2025年)、それと同様の取扱いを再現したものに改良した。本参考書が、JSNDI 仕様の超音波探傷器を保有していない受講者及び受験者が取扱いなどの練習を含めたデジタル超音波探傷器の特徴を学ぶ一助となることを期待する。

本参考書で用いている超音波探傷器のソフトウェアの制作は旧版のアナログ編及びデジタル編ともに元日本航空専門学校のご・谷村康行氏によるものである。なお、本シミュレータソフトウェアには、バグが含まれる可能性がある。現在の技術では、ソフトウェアからバグを完全に排除することは困難である点をご理解いただければ幸いである。なお、超音波探傷の基礎を学ぶうえで支障となるような事象はなく、これから超音波探傷を勉強される皆様の一助となれば幸いです。

以下に目次を示す。

- 第1章 ソフトウェアの使い方
- 第2章 超音波探傷のはじめ
- 第3章 装置と試験片及び探傷姿勢
- 第4章 簡易取扱い説明
- 第5章 ゲートの使用方法
- 第6章 音速と時間軸
- 第7章 ゲインの機能
- 第8章 探傷のはじめ

以上

